

平成29年度「留辺薬まちづくり協議会」(第9回)会議録要旨

◎ 日 時	開催日時 平成29年11月22日(水) 13:00~17:26
◎ 場 所	施設見学先(金華浄水場・留辺薬下水道管理センター・相内支所・武道館)、 留辺薬町公民館 1階 小ホール
◎ 出席者	協議会: 11名(横田会長、稲村副会長、荒委員、石田委員、菊池委員、 木幡委員、坂口委員、高野委員、武田委員、古川委員、 山梨委員、) 北見市: 五十嵐自治区長 安井留辺薬教育事務所長 事務局: 飯塚留辺薬総合支所長 奥原留辺薬総合支所 総務課長 今野留辺薬総合支所 総務課地域振興係長 村田留辺薬総合支所 総務課地域振興係 傍聴者: 無し

開 会

事務局 (総務課長) 開 会(13:00) (バス内)
あらためまして、こんにちは。
会議に先立ちまして、バス内ではありますが、まちづくり協議会委員1名の辞任に伴い、後任委員として、木幡和清氏にお引き受けいただくこととなりましたので、五十嵐自治区長から委嘱状を交付させていただきます。

【 委嘱状交付 】

事務局 (総務課長) 木幡委員から、一言ご挨拶をいただきます。

木幡委員 「 挨 拶 」

事務局 (総務課長) それでは、横田会長からご挨拶をいただきます。

横田会長

「 挨拶 」

事務局
(総務課長)

それでは、これからの進行につきましては横田会長にお願いします。

横田会長

五十嵐自治区長よりご挨拶をいただきます。

五十嵐自治区長

「 挨拶 」

横田会長

会議に先立ちまして、委員の皆様には事務局より会議の成立について、報告してください。

報 告

「 会議の成立について 」

事務局
(地域振興係長)

本日の出席委員数は、15名中、11名であります。

北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

なお、大江委員、千田委員、野瀬委員、山久委員におかれましては、所用により欠席される旨、ご連絡をいただいておりますので合わせてご報告いたします。

【 施設見学 】

(金華浄水場、留辺薬下水道管理センター、相内支所、武道館)

横田会長

皆様、施設見学ご苦労さまでした。引き続き会議を始めたいと思います。

議 題

「 (3) 福祉マップ作成報告(留辺薬高等学校) 」

横田会長

議題にありますように、留辺薬高校の生徒さんがつくった福祉マップについて、留辺薬高校の方から説明をしていただくということになっており、時間は、5時15分頃を目途にして終了したいと思っております。

それでは、後藤先生の方から報告をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

留辺薬高校(教諭)

あらためまして、皆さんこんにちは。本日は、このような席を設けていただきまして誠にありがとうございます。

あらためまして自己紹介させていただきます。私、留辺薬高校で主に福祉課の授業を担当しております後藤といいます。本年につきましては、本校の学校祭等に皆様に多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

本日は、課題研究福祉ゼミということで、総合的な学習の時間の一環として行っているゼミ生3名を引率して参りました。

この後、生徒からもあらためて自己紹介をさせていただいた上で、今回の作品等の紹介をさせていただこうと思いますが、もう既にご覧になっている方もいるので、概要だけ説明させていただこうと思います。

私の左手側、こちらの福祉マップについては、本来の目的は、留辺薬中学校に出前授業し、それを高齢者、特に車椅子を利用されている目線で、自分達の地元を見るというコンセプトで子ども達のアイディアのもとつくられたマップになります。

次に、横断幕になりますが、これも地域活性化に向けて何か高校生のアイディアでできないかと考えた時に、このような横断幕を通して、地域、特に留辺薬町のPRができないかという発想でつくられたものです。

この後、生徒から説明させていただきますが、まず、自己紹介させていただきます。

留辺薬高校（生徒） 留辺薬高校3年の地舘です。主に福祉マップの作成を担当しました。本日はよろしくお願いします。

留辺薬高校（生徒） 留辺薬高校3年の藪です。主に福祉マップの作成を担当しました。よろしくお願いします。

留辺薬高校（生徒） 留辺薬高校3年の小鷹です。横断幕を主に担当しました。本日はよろしくお願いします。

留辺薬高校（教諭） なお、小鷹と地舘については、北見市内に自宅があり、この後、16時54分のJRに乗るため途中退席させていただきますので、何卒ご了承いただければと思います。

それでは、生徒達から、マップの見どころやポイントを説明させていただきますので、よろしくお願いします。

留辺薬高校（生徒） 私達は、自分達で車椅子を使って留辺薬の街の中を探索しました。
その際、道路が結構砂利だらけで、セイコーマートの前などもすごくデコボコだったり、普通に歩いていれば何の問題もないと思うんですが、自転車だったり、車椅子のようなタイヤを使っているものだったら、転倒する恐れがある場所もかなり多く見られました。

そういう所を写真に撮って、ここが危険だよと示したのがこのマップです。

中学校の前の道路は、すごく削れていて砂利が見えたりしているので、危ないよということを見せたいなというのもありましたし、駅のスロープの所は、車椅子の方が乗る所なのに、スロープに段差があって、最初にくぼみがあるので、全然スロープの意味がないんじゃないかなというところの写真を撮ったり、他の人にもいろいろ見ていただきたいなと思ったので作成しました。

高校の前の道路もバス停や光星苑があったり、さらん亭があったりするので、お年寄りの方など色々な人が通るんですけど、やっぱり道路が危ない状況です。

ここが先ほど言ったセイコーマートの所の写真です。

こちらのラルズの所には、トラックが歩道から出て止まっていて、1回車が走っている所に出ないと通れなかったのも、これがお年寄りの方が通るとなると、もしかしたら衝突してしまうんじゃないかなという恐れもあるなと思って、ここに写真を貼りました。

ラルズを通り越した所は、歩道が斜めになっていて、車椅子で私達が通った時も真直ぐ行けなくて、車道の方に落ちそうになったりということも結構多かったです。

留辺薬高校（生徒） この横断幕は、留辺薬の有名なものを詰め込んで書きました。
春夏秋冬をイメージして書いたんですけど、これがエゾジカで、こちらは留辺薬高校でつくったゆるキャラの「白花豆子」と「白花留辺美」です。
こちらは水族館にいるイトウで、次にあるのが留辺薬高校です。
少しでも地域で使っていただけたらという目的を持ってつくりました。

質疑・意見

横田会長 汽車の時間があるので、ご質問、ご意見等があればお願いします。

菊池委員 これはどれぐらいの期間でできたんですか。

留辺薬高校（教諭） 4か月ぐらいで、だいたいここまでできました。

菊池委員 スタッフは何人ぐらいですか。

留辺薬高校（教諭） 7人ぐらいです。

菊池委員 よく特徴をとらえていて素晴らしいですね。

荒委員 ゆるキャラをつくられているんだけど、なかなか知られていないというのがあるので、是非ゆるキャラを含めて知ってもらおう努力をしてもらったらいいいのではないかと思います。

古川委員 大江さんがいないけど、観光協会にも是非PRしたらいいと思います。

坂口委員 観光協会で使っている白花のキャラクターがありますが、子ども達がこういうゆるキャラをつかって、先生方がどうにかならぬかということでアドバイスをし、2年目にこういう形になったんですね。

菊池委員 総務の先生のかだと思うんですね。

生徒と先生が一緒になって、この学校をどうやって良くしたらいいかということ
を考えるのが総務で、一生懸命やっていたらそのへんどういように感じ
たか教えてください。

留辺薬高校（教諭） 今年度のゼミ生はユニークというか、この絵を見ていただければお分かりい
ただけるとは思います、所々遊び心がちりばめられています。

単に真面目だけじゃもう通用しない時代になってきていますし、ユーモアやオリ
ジナリティが求められるこの21世紀型の学力を育てていく中で、今年の子も達
は、正にこれからの時代に相応しいアイデアを持っていて、できるだけそこを潰
さないよう、彼女達のいいところをできるだけ伸ばしたいなということで、ここま
で色々なアイデアを入れてもらいましたが、本当に一生懸命やってくれました。
私の方こそ今年は子ども達に勉強させてもらったと、そんな気がします。

高野委員 駅前に長く住んでいるんですが、今も留辺薬駅の看板が全部取り去られていて、
骨組みだけなんですよね。
以前も発言したんですけど、こういう絵があれば可愛くて、駅のところが明るく
なると思います。

横田会長 この作品は、この後どこかへ展示するんですか。

留辺薬高校（教諭） まだ試作段階です。こういうものがあったら町が活性化するんではないかとい
うことで、もしできが良ければ、でき上がった時点で関係機関との相談を考えていた
んですが、意外とできがいいんですよ。

高野委員 是非多くの皆さん方の目の触れる駅前に、原版を残すのであれば、カラーコピー
のような形で掲示していただいたら、ものすごく駅前が明るくなると思います。
今日見て、『ようこそ留辺薬へ』というのを見た時に、すごく感激しました。

古川委員 多少縮小したものをつくってもいいんじゃないですか。

菊池委員 ベニヤ板で大体2枚ぐらいなんじゃないですか。
幅はちょっとないけど、それで2枚つくればそんなにお金額がかからないでしょ
う。

稲村副会長 外で使うとなるとそれなりのものじゃなきゃだめですね。ベニヤ板ではとてもも
たないです。

菊池委員 ネーミングがいいんですよ。「ようこそ留辺薬へ」なんて、普通に誰でも使っ
ているような言葉を文字に残したというのは、私等の発想ではそういうことになら
ないんだから。

木幡委員 これで4カ月かかったというんだから、今の3年生で、新たなものを作るには間に合わないですよ。

横田会長 間に合わないです。

荒委員 私も温根湯中学校にいた時に、車椅子で実際に生徒と一緒にセブンイレブンだとか、あの周辺を車椅子で回った経験があるんですよ。

それで、セブンイレブンの所は、車椅子では幅が狭いので通れないよねとか、生徒が色んな感想を述べていたんですけど、こうやって地図をつくるまでの話にはならなかったんですよ。

だから、やっぱり高校生だなということを私は実感したんです。

今後は、ふれあい広場とかいろいろな時に是非見てもらって、活用してほしいと思うんです。

それから、北海道で出された障害者差別解消法というのがありますが、車椅子を使用されている場合ということで、段差をなくすだとか、車椅子の幅、走行面の整備、斜度、車椅子用のトイレ、施設のドアだとか書かれているんですね。

そういう面で、実際にこういう実態が分からないと改善のしようもないわけで、これを上手くいかして、一歩でも二歩でも改善に向けて活用していければ、皆さんの努力がもっと生きていくのかなと思っています。

横田会長 これはどこかに保管するんでしょう。

留辺薬高校（教諭） 高校で保管します。

横田会長 12月2日にここで社協のふれあい広場があるんですよ。
それには貸していただけるんでしょうか。

留辺薬高校（教諭） 2日に関しては、これを貼ろうと思っていたんです。

横田会長 それならいいですね。

これから、自治会の総会時などにこういうのを貼らせてもらって、皆さんに見てもらおうなど表に出さないと駄目ですよ。

荒委員 例えば、民生児童委員会の定例会だとか、そういう色んな集まりにこういうのを持って行って、こういうことが分かったんだとかということで、やっぱり問題意識を持ってもらうきっかけにもなると思うんですよ。

これから雪が積もってしまい、雪が溶けないと分からない部分があるかもしれないけど、実態はこうだということを地域の人に知ってもらうということは、これはすごくいいんじゃないかなと思います。

横田会長 高校に言えば貸してくれるのですか。

留辺薬高校（教諭） お貸しします。

横田会長 せっかく、こういうものをつくっているんだから、やっぱり地域の人に見てもらって、地域の人達の手でつくれるようなものも考えていかないと駄目だと思うんですね。

菊池委員 1月か2月に生徒の発表会がありますから、その時にこれを使ってみたら良いのではないですか。

留辺薬高校（教諭） その時にも、正にこれをメインテーマで紹介させていただきます。

菊池委員 高校で発表会をやっていることは、一般の人は知らないもので、知ってもらう方法を荒さんと相談してやってみたらいいと思うんですが。

古川委員 もったいないですよ。見に行ったことがあるんですけど、生徒だけで見ているというのが多いですよ。

菊池委員 自分も担当している時は行っていただけで、それ以外はなかなか行けない。

荒委員 一般の方もちゃんと見られるように椅子は置いてあるんですよ。

菊池委員 留辺薬の皆さんに、呼びかけて来てもらうような方法を何かとった方が良くと思います。

古川委員 以前見に行ったときは、父兄さんもあまりいなかったですよ。残念だなと思っています。

横田会長 発信の方法をどうするかですよ。

高野委員 NHKの12時に近い放送でも、各地方のいろいろな行事をやっていますから、そういうのを利用してほしいと思います。

菊池委員 今日、報道の方も来ていただいていますので、学校に行ってもらって、取材していただければと思います。

荒委員 参加者を多くしていくということは、すごく大事だと思うんですけど、学校だけが広報と一緒に折り込まれているのであまり見ないんですよ。

- 古川委員 目を通してスルッと次の記事にいてしまいます。
- 荒委員 今年の留高祭は、公民館でやったでしょう。
あの時のことから言えば、色んな集まりに行って、こういうことをやるから是非見に来てくださいということが、やっぱり必要なだと私なんかは思っているんですよ。
- 菊池委員 本当に、これが起爆剤になって、生徒が留辺薬に来たいというふうになれば良いと思います。
坂口さんと一緒に8年間評議員をやったんだけど、子どもが学校を卒業してしまったら、私が出るような話題じゃないなと思っていたんだけど、今こうやってみたら、こんなに留辺薬高校が変わってきたんだったらすごいことじゃないですか。
- 横田会長 菊池さんに呼びかけ人になってもらいたいです。是非お願いします。そういう人がいなかったら駄目なんです。
- 菊池委員 先生によって学校が変わり、生徒も変わったということで、こういう発想が今までないから、ここまでやれたということは皆さんに拍手を送りたいと思います。
- 高野委員 先生の方からも一言いただきたいなと思います。
- 留辺薬高校（教諭） 私は、地域から高校をなくさないために何ができるかということで、留辺薬に赴任してからずっと考えていました。
常呂高校が、今年の2月時点で募集が4人だったんですが、これは既成の事実なので、留辺薬がそうなったら本当に危ないと思っているんですよ。
そうならないために、広報活動を含めて、今の学校のスタッフでできることをどうにかやろうとされていて、これも1つの起爆剤だなと思って、今年の生徒の力を借りながら私もやっています。
その中で、留辺薬中学校とか温根湯中学校に子ども達を連れて行き、子ども達が授業をやってくれたんです。
地元の高校生がこうやって教えてくれる高校なんだって思ってもらい、1人でも生徒が増えたらいいかなと思っています。
彼女も地元の生徒なんですけど、この後地元で就労するんですよ。
地元の子が地元で育って、地元に残るというサイクルが今後できれば良いなと思いますので、皆さんも是非ご協力をお願いします。
- 菊池委員 今、留辺薬高校の先生は、校長を除いて何人いるんですか。
- 留辺薬高校（教諭） 期限付きも含め、13人です。

横田会長 生徒さんは何かありますか。

留辺薬高校（生徒） 特にありません。

荒委員 総合学科の発表会は日にちが決まっていますよね。

留辺薬高校（教諭） 2月2日です。

横田会長 それは、留辺薬高校だよりか何かに出るんでしょうか。

留辺薬高校（教諭） 出ます。この後、広報にも折り込まれますので。

横田会長 まちの人に呼びかけるという素材がないと、なかなか見てくれというだけで済まない話だから、できればそういう道筋をきちんとつくっていかねばならないですね。そういうことも、まちづくりには重要ですから、これからも遠慮なく言っていただいて、こちらも遠慮なく地域の皆さん方にお知らせするという事しかないですね。

荒委員 委員の皆さんは、係わっている団体にドンドン呼び掛けをやっていくということをしないと、なかなか広がっていかないと思うんですよね。

古川委員 発表会の時は、受付けて必要なんですか。

留辺薬高校（教諭） 必要です。防犯上、何かあった時に大変なので。

古川委員 色んな事件があるからですか。入って行く時に、ちょっとおごそかな感じがしたんですよ。何か普通に入って行けない感じがしたんです。

留辺薬高校（教諭） 危機管理とかというのが今問われていまして、学校の運営上、仕方ないんです。

横田会長 それは仕方がない。

稲村副会長 学校は皆そうだから。

横田会長 この辺で終わりたいと思いますが、先生の方で何かご意見、ご質問、要望、その他諸々ありましたらどうぞ。

坂口委員 高校生がこういう調査をして、問題提起をしてこういう事実があるんだということでは、次の段階で我々大人がどう解決したらいいかということだと思うんです。道道は土現、国道は開発、市道は北見市、そこへこういう写真をきちっと付けて

提示をすれば、今直ぐではなくても、来年度以降の予算につけて必ず直してくれたり、検討したりしてくれる。

そういうことになれば、もっともっと子ども達もやる気も出るだろうし、やりがいも感じてもらえるんじゃないかなと思うんです。

それと、留辺薬高校は、小学校に英会話の授業に行くなど、そういうことを一生懸命やっています。

それこそ昔から見たら退学率も大幅に減りましたし、留辺薬生まれの留辺薬高校の生徒は3分の1しかいないですけども、こういう形で留辺薬高校は今、北見市だけど、こうやって『ようこそ留辺薬へ』という題目をつけて、何とか第二のふるさと留辺薬を活性化したいという、こういう気持ちは本当に大事にしてあげなきゃいけないんじゃないかなと思います。

そういうことをまち協の皆さんにもう1度かみしめていただき、そしてあらためてお礼を申し上げたいと思います。

横田会長 自治区長、行政を代表して一言お願いします。

五十嵐自治区長 留辺薬高校の生徒の皆さんが、実際に車椅子を使ったりして、いわゆる実体験の中で、こういう福祉マップをつくっていただいたということで、大変感謝しています。

我々市役所側も気が付いていない所があるのかなと思っていますが、うちの職員も現場を歩いて、実際にどうなっているかということを調査させて、予算の範囲ですけど、できるだけ早く、ここは先にやった方がいいぞというのがもしあれば、順位を付けさせていただいて、高齢者にも障がい者にもやさしい道路として、改修していくように努めていきたいなと思っています。

是非、この裾野を広げていただき、また違った所でやっていただきたいなというふうに思っています。

横田会長 自治区長から決意表明がありましたので、坂口さんの話でまとめたいと思います。

生徒さんと先生、どうもありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いします。

その他

横田会長 本日の議題はすべて終了させていただきます。
皆さんの方から、その他で何かありますか。

荒委員 私が、北見の地域福祉の策定委員をやっていた時に、その中で、重点の1つになっていたヘルプマーク、ヘルプカードが、結果的には北見市が札幌に次いで2番目だったということが道新に報じられていて、策定委員会の中で発言した人間なので

私もびっくりしたんですけども、それで、道主催のいろいろな集まりで、道としてやってほしいということを何回も言っていたんですが、結果的には、ネットで見たら、10月18日になっていたのかな、道としてヘルプマーク、ヘルプカードについて取り組むということが決まって、10月の広報の何ページかは忘れましたが、小さく載っているんです。

それは、ヘルプマークしか載っていなかったので電話したんです。そうしたら、道からヘルプカードが遅く届いたので、これからやっと配ることを始めたんですというような説明をされました。

これは先ほどもバスの中でも話をしたんですけど、ヘルプカードは、災害時何かに非常に活用できる中身で、道の取り組みになったということで、一応皆さんに知らせておいた方がいいかなと思いましたが、報告させていただきます。

横田会長

それでは、これで終了させていただきたいと思います。
皆さん、ご苦労さまでした。
それでは、事務局の方から連絡事項をお願いします。

事務局

(地域振興係長)

次回の協議会の開催ですが、今のところ予定はありません。決まり次第あらためてご連絡させていただきます。

閉 会

横田会長

それでは、終わります。ご苦労さまでした。

以上のとおり、まちづくり協議会（第9回）を終了した。

(17:26 終了)